

令和3年度 総合戦略検証委員 意見等

日時：令和3年7月15日（木）午前9時30分

会場：八峰町役場 大会議室

■議事：施策の効果検証への意見等について

(1) 目標数値・重要行政評価指標（KPI）進捗状況について

質問・意見等は無し

(2) 各施策の令和2年度実績および今後の方針について

質問・意見等は下記のとおり

委員

菌床しいたけ産業推進体制強化事業は効果がある。今後複数名実施する予定と聞いている。

委員

定住移住対策について、移住者受け入れ体制を強化しているが地元の人が転出しているケースがある。移住者が来ているのは大歓迎だが、地元の人が地元に残ってもらう対策を強化する必要があると思う。

事務局

移住より定住を先に実施していくということで、「移住・定住対策」を「定住・移住対策」としている。地元の人、町内出身の若者を戻すような施策もやっていくべきということで6事業を実施している。定住促進用空き家改修事業においても、以前は移住者だけを事業対象をしていたが今は転居も対象にし、定住にも対応できるように移行している。町営住宅は随時地域活性化住宅に移行していく。今までの所得制限など、もろもろの問題点の解消の1つとして始めた。また、今年度から宅地分譲についても夕凧団地の一部を分譲したり、中浜地区を整備する方向でいるので、新たに家を建てるという方についてはそういうところを紹介していきたい。住まいづくり応援事業については、リフォームと空き家改修も対象にしている。

委員

インバウンド受け入れるとあるが、外国人が来町した際、受け入れる体制が出来ていない。受け入れ関係を整備するなら、今のコロナで人流の無い時にしっかり対応できるよう整備するべきだと思う。

事務局

白神ツーリズムに通訳が採用されている。要請あれば紹介できるが、事業所全てで対応するのは困難なので広域的に考えていく必要がある。

委員

アフターコロナについては、個々の事業者は今のところで精一杯。商工会、観光協会でもサポートしていかなければならない。

委員

各飲食店で外国語対応をどう整備するのか。各事業所が自分で整備するのは大変だと思うので、町でインバウンドを狙うのであれば指導をできたらいいのではないか。

事務局

提案された件については、観光協会・商工会も関係するので相談しながら検討していきたい。

委員

情報発信強化事業について、コロナで仕事の無い中、大手企業では地方に出向いて新しい流通を作り、セカンドチャンスを探しているようだ。そのような企業の考え方と町の考え方をマッチさせながらすすめてほしい。町はノウハウが無いので、そういう方と会って事業展開できれば、これまでにないようなものが生まれると思う。

委員

今回定住移住コンシェルジュとして地域おこし協力隊の就任が決まったので、SNS を利用した情報発信を強化してもらいたい。外に発信するのも大事かと思うが、町民に対してどんどん進めてもらいたい。SNS も役場職員が先立って登録するべきだと思う。

事務局

地域おこし協力隊と連携しながら情報発信していきたい。町としての SNS を活用することについては具体化に向けて各課とも調整していければいいと思う。庁内で検討しながら対応できないかと考えていきたい。

委員

ここに住みたいと思ってもらえるにはどういう仕事があるかというのが大事だと思う。子育て支援や移住定住の制度等、内容を知らない町民の方も多くいると思う。またこの制度を当たり前と思っている町民の方もいると思う。八峰町のいいところを多く発信したほうがいい。

委員

町の制度内容がとてもいいということを他の市町村の方がわからないかもしれないし、ここに住んでいると当たり前と思うことが多々あるので、他の自治体の方にもうまく周知して定住移住につなげてもらいたいと思う。

委員

役場では広報紙とホームページがメインだと思う。広報紙を見ないという若い方もいる。そのため、登録した携帯に届くようにメルマガを活用したり、ラインを利用して発信していくのも1つの手ではないか。

委員

不妊治療に対する補助している。ものすごい取組みなので、今後の方針に入れてはどうか。

事務局

不妊治療については一般・不育症治療を全額町で補助している。今後の治療については医療制度の中で想定されているので、それを踏まえ記載は見送った。

委員

漁業に関する記載が少ない。町のご助力いただきながら、ハード・ソフト共にサポートしていただけるようにしていただきたい。今後の方針にうまくまとめてもらいたい。

事務局

漁業への支援制度はこの資料に載せていないが設けている。漁協とも話し合いしており、今後必要な制度を構築していきたい。

委員

宿泊者への補助を秋田県や八峰町で行っている。近隣市町村や県内の宿泊施設の知り合いも非常に助かっているときいているので、効果があると思う。その一方、アフターコロナを見据えて補助が無くなっても宿泊者が来町する対策を考えないといけないと強く感じる。